

「第2期 恵庭市シティセールスプラン(案)」のパブリックコメントの意見募集結果及び意見に対する市の考え方について

1. 募集期間 令和7年4月1日(火)～4月30日(水)

2. 意見総数

持参	郵送	ファックス	電子申請	メール	意見箱	合計
0	0	0	0	1	0	1

3. 寄せられた意見(抜粋)

寄せられたご意見に対する考え方を以下のとおり説明いたします。

また、寄せられたご意見については、個人を特定する箇所やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

番号	寄せられた意見の概要	ご意見に対する恵庭市の考え方
1	<p>恵庭市は政令指定都市である札幌市とラピダス効果のある千歳市の間にあることからベッドタウンとしての可能性、さらに隣町の北広島市にはエスコンフィールドがあり政策次第では急激な人口増も可能と考えられる全国的にも有数な好立地都市である。しかし、現在は市街化区域に空き土地が少ない恵庭に移住を考えても購入者の条件に合う物件を見つけるのが難しい。さらに、賃貸用のアパート、マンションも少ない。大都市近郊が人口増を行うには「①地価が安いこと②利便性が良いこと③子育て世代へのサービス充実」である。</p> <p>①地価の安さはベッドタウンとして選ばれる必須条件である。今日の増税や物価高、実質賃金の低下に加えて建材費の異常なまでの高騰により子育て世代の一軒家購入やマンション購入は難しい。さらに、新規に賃貸用アパート、マンションを建設したとしても投資額を回収するために賃料を高くしては入居の見込みは低い。それを解決するために少しでも安い土地が必要である。</p> <p>②今日、フレスポ恵み野近郊にコメリやヤマダ電気が建ち恵庭の商業施設が一か所に集まり利便性が急上昇した。しかし、現状として活気が無く客の入りは良くない。その原因が近郊</p>	<p>最近の恵庭市を取り巻く環境、これからの展望なども含めまして、地価高騰を考えた場合の土地の購入や住宅地の環境整備などは恵庭市の課題でもあります。</p> <p>「人が集まれば、更に人を呼び、自然と人口が増加する」といった点、「Instagram や Facebook などSNS」を活用した情報発信が重要というご意見については、そのとおりであると考えております。</p> <p>今後も積極的な発信に心掛け、自然を満喫できる恵庭溪谷からオシャレな飲食店などを、SNS や観光雑誌を活用するとともに、マスコミを含めた積極的な露出を意識しながら本プランをベースに、新しい取組を行いながらシティセールスを実施して参りたいと考えております。</p>

に住宅街が少ないことである。

③近郊の街の成功例として人口増加率全国 No.1 の南幌町がある。広場、子育て支援センター等も影響しているが、地価が安いのに加え住宅建築助成事業も大きいな効果である。お金が浮けば子育てもしやすくなる。

①～③を考えると現在、市街化区域検討中の西島松エリアと柏陽町エリアは駅と商業施設から近いことで地価が高騰する可能性が高く子育て世代の土地購入が難しい。また、賃貸用のアパート、マンションを建設するにしても地価が高いと賃料が高くなり札幌並みでは借りる方(移住・定住)に魅力がない。

そこで恵み野駅から半径1kmから半径2kmに広げ地価が安くかつ商業施設からも近い「島松大通り沿いの西島松」も積極的に市街化区域に変更するのが良いと思われる。また、市街化区域にする時に市の莫大な負担となるインフラ整備も島松大通りであれば既に整った道路や上下水道があるため市の財政圧迫の緩和にもなる。島松大通りに限らず上下水道があり商業施設から近いエリアは積極的に市街化区域への変更を検討すべきである。人が集まれば更に人を呼び自然と人口が増加する。

子育て世代が特に使うインスタとティックトックで「安い土地」「便利な商業施設」「子育て支援」「札幌および千歳(空港)から近い」のアピールが良いと思う。子育て世代が増えれば街は潤い事業者も増え高齢者も住みやすい街へと確実に変わっていく。

観光に関してはインバウンドにより現在は全国的に外国人が増えているが、これはあくまでも円安効果と考えられるため一時的な外国人観光に頼る政策ではなく、道民の観光を継続的に増やす方向性が良いと思われる。

恵庭溪谷、漁川ダム、えにわ湖自然広場、ルルマップ自然公園ふれらんど、えこりん村、花ロードえにわ、郷土資料館等に加えオシャレな飲食店も多く観光資源が沢山あり、札幌から近いため本来は気軽に立ち寄れる立地にも関わらず、観光できる街というイメージは一切ない。これは確実にアピール不足で道民に認知されていないのが原因である。今日の観光は SNS と観光雑誌、カフェ(飲食)雑誌による効果が大きい。そのため市としては積極的に SNS(フェイスブック、X、インスタ、ティックトックなど)で毎日更新しつつ民間と協力して雑誌や TV 特集を組んで徹底的に周知、露出するのが良いと思う。周知、露出に勝る人集めは無い。